

会議録（要点記録）

会議名称	令和3年度第2回小金井市精神保健福祉連絡協議会 部会		
開催日時	令和4年1月19日（水）14:00～15:15		
開催方法	ZOOMを使用し、オンラインで開催。		
出席者等	小椋委員、佐々木委員、五味渕委員、杉山委員、藤原委員（欠席：鈴木委員） 事務局：自立生活支援課長、相談支援係主査		
傍聴の可否	不可	傍聴者数	0人
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 全体会報告事例についての進捗状況</p> <p>【事務局より全体会報告事例の進捗状況について説明。（詳細は別紙のとおり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aさん、Bさんともに試泊の結果は良好。自傷行為（Aさん）、不安（Bさん）等は特に見られなかった。 ・ Aさんは地域移行を利用中であるが、Bさんは病院を通じた連携の中で支援をしているので地域移行は入れてない。 ・ Aさんは本人のみではなく、家族の支援にも注意が必要。 ・ Aさんは障害があることを伏せて就労することを希望しているということだが、雇用主に事前に伝えないことにより、トラブルを未然に防げない等の心配はないのか。 ・ 本人と支援者の信頼関係を保つためには、希望どおり障害名等を伏せる必要がある。 ・ 支援者がどこまで介入できるかというところも課題。知っている情報のどこまでを伝えてよいかということもある。 ・ オープンにするかどうかは、本人が配慮を求めているか否か、障害の状態により必要か否かということにも関わる。 <p>【事務局より前回の部会報告事例及び現在対応中の新規事例について説明。（詳細は別紙のとおり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体面、トイレ支援など介護が必要なケースが多いという印象。複合的なケースや困難事例に関わらず、なかなか退院につなげない方がたくさんいると思う。そういった方にどうアプローチしていけ 		

るか、どこにつなげていけばいいのかが課題だと思っている。

- ・小金井市は精神障害と身体障害の重複障害に対応できる社会資源が足りないのが課題。

- ・障害福祉サービスは、障害種別に応じてサービスが提供されるが、今回の事例は、身体のADLが落ちているが手帳は精神だけ、知的にも障害があると思われるが手帳は取得していないなどの事例が多いので、適した事業所につなげるのが難しい。

- ・地域移行とは逆行するが、入所が必要な場合もあると思う。

- ・既存の地域資源で対処できない部分を、ボランティア等による支え合いでカバーできるとよいし、地域で集まれるサロンのようなものがあるとよいと思う。

- ・他の自治体では日中の活動場所がなくても入れるグループホームがあるが、小金井市内では難しいのが現状。地域生活が困難な方にいかに寄りそっていけるかが課題と感じた。

- ・孤立させないことが重要と習ったが、居場所作りをしていると、いろんな方がいるので、メンバーによって行くのがいやになってしまうという方もおり、難しいと実感している。行ける場所がたくさんあれば、本人にあった所を見つけられるのだろうと思う。

- ・地域生活とこいつつ、グループホーム内しか生活の場がない方もいる。隣との距離が一定確保できるとか、近くに散歩できる場所があるなど、ゆったりしたグループホームがあればよいが、そうでないと生活の質の確保は難しいと感じる。施設に閉じ込めるという考え方は決していいことではないが、生活の質や安心感という意味では入所も選択肢の一つではあると思う。

- ・地域生活の支援は、居宅のみでなく就労系以外のサービスの充実も必要と思っている。

(2) 各事業所から情報共有・意見交換

【福祉総合相談窓口】

- ・最近多いのは8050問題。親が亡くなり、子が引きこもっているが、支援を望まないケースが増えている。

【地域生活支援センター そら】

- ・コロナの影響で病院に入れなくなっているため、地域移行支援が

とまってしまっている。動き始めた方が、病院しだいである。

【小金井市障害者地域自立生活支援センター】

・虐待防止センターの講演が決まった。2月22日18時～20時で開催予定。虐待にならないように本人の権利を擁護する内容。センター、ZOOM両方で開催。詳細が決まったら連絡する。

【小金井市児童発達支援センター きらり】

・コロナについて、今回は子供の感染が多いと実感している。地域の幼稚園、保育園、きらりでも感染者が出て、一部の事業を休んだこともある。濃厚接触者が特定されるまでは通所を控えたいという利用者が各事業数名いる状況。

【小金井市権利擁護センター】

・年度末に向けて後見に移行する方が多く、解約者が増えている。その分新規を契約しなくてはならないが、緊急を要する方に関しては、調整を行っている。課題としては、精神の方が多いため、年齢の若い方の支援となると、通帳を預かってもスマートフォンのアプリで、自分で操作をされてお金を使ってしまったり、後日把握するというケースが非常に多い。スマートフォンを使わないということではできないので、どうやって本人と一緒に収支を考えていくか、いい方法がみつかっていない。20代の方が増えているので、所内でも検討している。

【市役所】

・2月5日14時～16時に障害理解促進講演会を予定している。内容は「発達障害を知ろう」。東京都発達支援センターの方を講師に招いて、萌え木ホールで開催。定員は50人。蔓延防止重点措置の期間中で不確定な点もあるので、詳しくは問い合わせしてほしい。

(3) 次回の開催日について

全体会：年度が明けてから改めて日程を調整する。

部会：3月に開催が必要かどうか確認の上、改めて連絡する

(4) その他

・特になし

3 閉会

提出資料	次第
------	----